

## 萩にあしあと残そうよ

「令和二年、年末随想。」

令和2年(2020)  
12月30日発行  
—第17号—  
発行：大塚好一

会社の営業は今日三〇日までですが、休業体制が続く私は一足先に二八日が仕事納めとなりました。そんな年末の一日を、今年を振り返りながら過ごすことにしました。

今朝は午前五時前に山口県に「暴風雪警報」が出されました。昨夕から雨が降り、時折強い風が吹いています。書き上げる頃には、どんな天気になっているでしょう。明日の朝には積雪があるかな。

### 〔休業が続いた一年〕

新型コロナウイルスの感染拡大により社会が一変した今年、外回り営業の社員は休業が続きました。四月から六月下旬までは全休、以後週一日出社となり、ようやく一月下旬から週二日出社しています。

初めのうちは国の緊急事態宣言が出たことで、観光施設や飲食店なども一斉に休業し、「今は休むことが仕事だ」と

思うことができましたが、世間が元のように動き始めるに従って、「休んでいるのは自分だけなのではないか」という後ろめたさや不安を抱えるようになりました。

髪切れば頭の中にある雲も散らせぬものか梅雨明けぬ朝

(七月二九日)

通学の子らを見送る今日も

また休みなる我が長き一日

(九月一七日)

しかし、会社が選択した休業であるため、出社日数が少ないことに後ろめたさを感じる必要はないようです。むしろ休む方が苦痛という考えもありますから…。

まだコロナ禍は続くでしょうが、お客様にも同僚にも誠実に対応するなど、とにかく私にできることを実践していけば良いと思っています。

### 〔すばらしい出会い〕

三月一日、明神池近くで野口雨情の詩碑を発見しました。これがきっかけで出会った末武芳和さんは「いそ萬」という食事処の店主です。

若い頃から雨情が好きで、生誕一二〇周年の平成一四年(二〇〇二)五月に、店の駐車場に碑を建てました。



萩の笠山 明神池は  
潮のみち引き ままならぬ

碑を見つけて興味を持った私が「萩小唄」について調べ、まとめたことをとても喜んでくださり、印刷して店内に置いていただいています。

末武さんは「親戚のおじさんだと思って、用がなくても時々顔を出すんだよ」とおっしゃいます。一月からカニのシーズンを迎え、昼の営業に加え夜の予約客も受け入れ、お忙しいようですが、訪ね

て行くと「腰が痛い」とこぼしながら「いい友達ができた」と迎えてくださいます。

また、寮で自炊していることもご存じなので、食事処ならではの厚意に甘えさせていただくこともあり、ありがたいことばかりです。

野口雨情は人に親切にしたことは「忘れやんした」と言い、世話になったことは忘れない人だったそうです。末武さんにお会いするたびにイメージが重なり、帰り際に詩碑を見て「雨情さんのおかげだなあ」と思う私です。

### 〔運良く…鹿児島旅行〕

二月下旬に鹿児島へ二泊の旅行ができたのは、振り返れば運が良かったと思います。

宮崎市在住の友人と五年ぶりの再会を果たすことができました。そして知覧の武家屋敷や指宿の砂むし、仙巖園などを訪れました。特に印象的だったのは、那須野が原の開拓に関わった人々の誕生地巡りで、今でも興奮が甦ります。来年も計画を立てて九州のどこかを訪ねるつもりです。

### 〔夕日「レクシオン」〕

海を臨む部屋で寝起きする生活をするとは、夢にも思っていないませんでした。その海の表情は、天気の良し悪しや海面の揺れ加減、そして潮位の高低などにより毎日異なり、見飽きることはありません。



8月23日、右は笠山。

私が住んでいるのは市の中心部から少し離れた所で、海は真西に開けています。このため夕日観賞に最適で、自室にこもっていることが多かった今年は、天気が良いと海辺まで歩き、夕日の撮影をする機会が多くなりました。



10月20日

## 〔自由気ままな歌日記〕

創作ノートを読み返し、未掲載作の中から数首を拾いあげてみました。出来の良し悪しではなく、今年の暮らしの様々な場面が詠みこまれていることに面白みを感じます。

☆LINEのメッセージ

お母さんお願いあるの  
アクリルの手編みのたわし  
そのうち欲しい  
(一月一四日)

☆二袋一〇円が嬉しい

今日もまた  
見切り特価のもやしあり  
根物と煮たり寒き夕べに  
(二月一八日)

☆社用車中でほっとする

ウグイスの  
鳴き音に気づく交差点  
赤信号とは粹な計らい  
(三月四日)

☆その後、百回も突破！

二重跳び  
昨日は越えられなかった  
三十回の壁を突破す  
(四月八日)

☆ギブリとの闘い

朝迎え捕獲箱には黒ひげを  
揺らすギブリ我は安堵す  
(六月九日)

☆マスクや袋やカバー作り

襟擦れたシャツを  
刻んで縫いあそび  
気ままに時をひとり繕う  
(七月二日)

☆生ごみ保管の効率化

炎天に西瓜の皮を  
一日置けば 乾いてぺらり  
ぺらぺらになり  
(八月二四日)

☆えっ、訂正なしなの？

その漢字読み間違い  
と教えた ラジオで  
ニュース伝える人に  
(九月一〇日)

☆特に用件はないけどサ：

わが母は一方的に話しきり  
もう時間ねと電話を終える  
(十月一六日)

☆私は本日も休業なり

給油所に響く工具の接地音  
ネジ巻く音も雪道支度か  
(一二月八日)

## 〔年の瀬の風景〕

一二月に撮影した写真から  
年の瀬を感じられるもの数点  
を選びました。帰省のみやげ  
話に代えて掲載します。

松陰神社の大絵馬には、丑  
年生まれの伊藤博文が松陰先  
生とともに描かれました。



博文は天保 12 年 (1841) 生。  
今年は萩西中美術部が制作。

国登録文化財の萩駅舎及び  
駅前広場がライトアップされ、  
目を楽しませてくれました。



2020 萩イルミネフェスタ  
(2020.11.28~2021.1.5)

山口市阿東町嘉年 (かね)  
の交通安全かし？がサンタ  
に衣替えしていました。確か  
いつもは着物を身に着けてい  
たと思いますが…。



嘉年婦人会の粋な演出です。  
後方の山は十種ヶ峰。

美祢市の秋吉台。広大なカ  
ルスト台地で見える夕日は、寒  
さを忘れさせるほど美しいも  
のでした。二月二日には山  
焼きが行われる予定です。一  
面黒焦げになった後には芽吹  
きの季節がやってきて、再び  
緑の草原になります。



冠山からの眺め。一面がススキ  
等に覆われて壮観！

山口市の道の駅願成就温泉  
の玄関には、駅長がこしらえ  
た立派な門松がありました。  
一月下旬から、売店でチヨ  
ンマゲビールの販売が始まり  
ました。嬉しいことです。



## 〔不足と満足について〕

不足といえはランニングの  
回数です。月平均五回程度と  
いうことは週一回、これを倍  
ぐらいにしたいですね。それ  
から市内散策も少なかったよ  
うに思います。どちらかとい  
うと市外に出る方が積極的だ  
ったかもしれません。

満足といえはどちらも秋、  
萩往還を歩いたこと、津和野  
の雲海を見たことが挙げられ  
ます。それから斎藤茂吉と野  
口雨情の足跡を追ったことも  
気持ちの高揚がありました。  
どのような状況にあっても、  
心と体を動かして、健康を保  
つのが一番ですね。 (完)